

令和 6 年度第16回 区政運営会議 記録要旨

1 日 時	令和 6 年 1 月 24 日（金） 10：00 ～ 10：10	2 場 所	第五委員会室	
3 件 名	旧リボン旗の台店の跡地活用について			
4 出 席 者	区長、堀越副区長、新井副区長、教育長 各部長・担当部長 企画経営部各課長・総務課長・戦略広報課長・障害者施策推進課長・障害者支援課長	5 会 議 結 果	■ 案のとおり決定する。	【備考】
			□ 一部修正の上、決定する。	
			□ 継続して検討する。	
			□ 案を否決する。	
6 会 議 内 容	【指示事項】 ・案のとおり決定する。教育委員会と連携して取り組むこと。			

付 議 事 案 書

審議事項 ・ 報告事項						
1 件 名		旧リボン旗の台店の跡地活用について				
2 担 当 部 課		福祉部障害者施策推進課・障害者支援課		3 関 連 部 課		教育委員会事務局学務課
論 点 4 （決定を要する事項）		旧リボン旗の台店の跡地を、障害者就労支援事業を実施する施設として活用してよろしいか。				
5 概 要	① 現 課 状 題	▼現状 障害者就労支援センターの登録者数は年々増加しており、令和6年度（9月末時点）では令和3年度より100名以上増加している。 ▼課題 就労希望者…自身の適性を客観的に気づく機会が少ない。 民間企業……障害者雇用に関するノウハウや理解不足 ↓ 就労希望者が仕事を体験できる機会が少ない。		② 付議事案	目 的	▼仕事を ”体験” できる場の提供 就労希望者が社会との関わりやコミュニケーション能力を身に付け、適切な就労や雇用へつなげる。 ▼地域共生社会の実現 地域交流を通じた障害者理解の普及啓発
		対 応 方 策	▼障害者就労支援事業 ・ 雑貨類や区内障害者就労事業所の自主製品の販売業務 ・ 店舗運営関連業務			
	③ そ の 他 （スケジュール等）	令和7年 4月 委託事業者選定（簡易プロポ）開始 7月 事業者特定 8月 開店準備 9月 開店		項 目	有 無	方 法 （時期）
				条例規則	無	
				議会説明	無	
				区民参加	有	
				報道発表	有	令和7年度予算プレス発表（令和7年2月5日）
				広報・HP	有	区HPや広報しながわによる開店周知（令和7年8月）
6 参 考 情 報		保健予防課が新型コロナワクチン接種会場として令和5年度末まで使用後、現況は外壁改修工事（リボン旗の台店跡地およびファミリー旗の台）仮設資材置場として活用中		7 添 付 資 料		別紙「旧リボン旗の台店の跡地活用について」

旧リボン旗の台店の跡地活用について

区 政 運 営 会 議 資 料
令 和 7 年 1 月 2 4 日
福 祉 部 障 害 者 施 策 推 進 課
福 祉 部 障 害 者 支 援 課
教 育 委 員 会 事 務 局 学 務 課

【経過】 ①令和5年度末まで新型コロナウイルス感染症の集団接種会場として活用。（保健予防課） ②令和6年度は建物の外壁工事を実施中。（併設施設：ファミーユ旗の台）

【審議事項】 障害者就労支援事業を実施する施設として活用してよろしいか。

1 位置図・建物概要



<旧リボン旗の台店跡地概要>

所在地 旗の台5-13-9
敷地面積 565.21㎡
延床面積 551.63㎡
階数 地上5階 地下1階（複合施設）
施設構成 地下1階～地上1階：旧リボン旗の台店
地上2階～地上5階：ファミーユ旗の台
用途地域 第一種中高層住居専用地域
建築年月 平成9年12月（築26年）

2 障害者就労支援の現況

障害者就労支援センターの登録者数は年々増加しており、令和6年度（9月末時点）では令和3年度より100人以上増加している。

▼考えられる要因

- ・企業での就労経験がない(少ない)ために、自身の適性を客観的に把握したいというニーズが増加した。
- ・民間雇用が定着せず再登録者が増えている。
- ・超短時間雇用促進事業が始まり、短時間で働きたい方も登録しやすくなった。

（一方、民間企業側には“障害者雇用に関するノウハウや理解不足”といった課題もあり、安定的な就労につながらない障壁の一因となっている。）



仕事を「体験」できる場を提供する。

- 就労希望者が自身の適性に気づくことで、適切な就労支援や雇用へつながる。
- 仕事の体験を通じて、社会とのかかわりや他者とのコミュニケーションを学ぶことができる。

3 活用方針

・仕事を「体験」できる場として、店舗運営等を実施 ⇒ 一般就労の意欲がある障害者等がスタッフとして運営に従事

【1F】

売店・事務所・集いの場

（1）一般商品・区内障害福祉サービス事業所自主製品の販売

- ▶ 地域のニーズをとらえた魅力ある商品を仕入れ販売する。
- ▶ 区内障害福祉サービス事業所の自主製品（パン・焼菓子等）を受託販売する。

（2）区内障害福祉サービス事業所の共同受注窓口の運営



- ▶ 区内障害福祉サービス事業所の共同受注窓口を設置し、販路拡大を図る。
 - ① 新規大口事業所への開拓営業
 - ② 複数事業所への分散発注コーディネート

（3）集いの場の運営

- ▶ 誰もが利用できる集いの場を併設し、地域交流を促進する。



【地下1F】

区立学校標準服等リユースコーナー

障害者等に、不要となった区立学校標準服等リユース品の回収受付、商品管理、受渡し業務を体験してもらう。



4 概算経費

種別	イニシャルコスト	ランニングコスト
金額	10,000千円	40,000千円
内訳	開設準備経費 （委託料、初度調弁など）	委託料 33,000千円（人件費23,600千円、その他9,400千円） 配置職員（責任者1、専門員2、非常勤4、障害者スタッフ2） その他 7,000千円（建物維持管理経費）

5 スケジュール

年度	令和6年度				令和7年度					
月	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
スケジュール	外壁工事		○予算プレス発表 ○地元町会長への説明 （旗の台南町会）	◎予算議決 ○委員会報告 事業者公募					開設準備	◎開設